

「安全管理の取組状況の自己チェックシート」

保有車両数50両未満の一般貸切旅客自動車運送事業者向け

【記載要領】

1. 運輸安全マネジメント評価は、従来から実施している保安監査と異なり、貴社の輸送の安全を確保する取組について国が支援する趣旨で実施いたしますので、貴社の取組状況を記入してください。
2. 安全管理の取組状況の自己チェックシートは、「一般貸切旅客自動車運送事業の概要」を含め7枚ありますので、本記載要領を参考に必要事項を記入してください。
3. 最初に、1頁の自己点検日、事業者名称、代表者の役職・氏名等及び「一般貸切旅客自動車運送事業の概要」を記入してください。
4. 次に、貴社の取組状況を2～7頁の「自己チェックシート（1／6～6／6）」の「自己チェックポイント」をご覧いただき「具体的な取組内容等」欄に記入してください。
5. 「自己判定」欄には、貴社の取組状況を「自己チェックポイント」に照らして、実施している場合は「○」、一部実施している場合は「△」、実施に至らない場合は「×」を記入してください。

自己点検日：令和7年3月3日

事業者名称：笛吹観光自動車株式会社

代表者の役職・氏名：代表取締役 雨宮 亮二

安全統括管理者役職・氏名：代表取締役 雨宮 亮二

| 一般貸切旅客自動車運送事業の概要 | |
|-----------------------------|---|
| 項目 | 記載欄 |
| 所在地 | 山梨県山梨市大野 1803-1 |
| 連絡担当者役職・氏名 | 代表取締役社長 雨宮 亮二 |
| 電話番号、FAX、メールアドレス | 電話：0553-23-0002 FAX：0553-23-0568 メールアドレス：fuefukikankobas@fruits.jp |
| 社員数 | 社員数：29名、(内訳 運転者：15名、運行管理者：2名、整備管理者：1名) |
| 運転者 | 平均年齢：56歳、平均勤続年数：7年 |
| 営業所数 | 営業所数：1箇所 |
| 保有車両数 | 合計車両数：18両、大型 10両、中型 3両、小型 5両 |
| 事故件数(直近の3年間) | 令和4年度：0件、令和5年度：0件、令和6年度：0件 |
| 貸切事業許可年月日等 | 昭和60年1月16日 許可 関自旅 第439号 山梨県バス協会加盟 有 |
| 専業、兼業の別 | <input checked="" type="checkbox"/> ：貸切バス事業専業、 <input type="checkbox"/> ：他の事業と兼業(兼業している事業の名称：) |
| 業務の様態(業務量の多い順番に番号を付してください。) | (2)：行楽シーズンの観光バス、(1)：旅行会社からの依頼、(3)：地元自治会等の依頼、 ()：都市間輸送のバス、(4)：修学旅行、()：スキーバス、()：企業・学校・マンション送迎バス、 (5)：会葬者の送迎バス、()：福祉輸送、()：その他(通学支援バス業務委託) |
| その他情報 | 旅行代理店からの依頼割合：65%、運行日程(日帰り：70%、宿泊：30%)、 ガイドの添乗状況：70%、インバウンドの運送契約割合：0% 繁忙期(月)：()、閑散期(月)：(1月・3月) |

自己チェックシート (1 / 6)

| | 自己チェックポイント | 自己判定 | 具体的な取組内容等 | 担当官判定 |
|----------------|---|------|--|-------|
| 1 経営トップの責務等 | 1. 代表者(経営者)の輸送の安全確保に関する考え方 | | 1. 考え方 スローガン「安全な運行と安心を提供し誇りある会社へ」 ・安全は全ての業務に於いて最優先 ・今のレベルで満足せず最高の運輸会社へ ・日常点検は車両の声を聴くタイミング | |
| | 2. 代表者(経営者)は社員に指示する等により上記 1.の考え方を記載した安全方針を作成しているか。 | ○ | 1. 作成状況 「安全な輸送の取り組み」と銘打って社内に掲示している。 2. 安全方針(主な内容) ・安全確保が事業経営の基本である事を社長以下、全社員が深く認識して安全確保に最善の努力を尽くします。 ・関係法令や安全の為の規程を順守して厳正に業務遂行に努めます。 ・全社員の安全意識を高め一丸となって継続的改善を行い輸送の安全性の向上に努めます。 ・輸送の安全に関する PDCA サイクルを確実に実行して安全対策を見直します。 ・輸送の安全に関する情報を積極的に公表し、お客様に安心と信頼を提供致します。 | |
| | 3. 輸送の安全を確保するために必要な人員や設備等を確保・整備しているか。 | ○ | 1. 人員 必要な人員は確保しています。 2. 設備等 ・設備は定期的に更新し計画的に新車購入(高性能安全装置)を進めています。 ・日頃から社員と会話をすることで、必要な備品、車両状況等がわかるので整備に関しては速やかに改善されています。 | |
| | 4. 安全統括管理者は、社員に指示する等して、輸送の安全に必要な手順・規則を作成し、社内に周知しているか。 | ○ | 1. 作成・周知状況 ・安全管理規程を作成し、社内に周知しています。 | |

自己チェックシート (2 / 6)

| | | 自己チェックポイント | 自己判定 | 具体的な取組内容等 | 担当官判定 |
|-----------------|----|--|------|--|-------|
| 2 安全管理の考えと計画 | 1. | 作成した安全方針を社内に周知徹底しているか。 (例えば会議、点呼、掲示等により) また、必要に応じて見直しているか。 | ○ | 1. 周知方法 「安全な輸送の取り組み」と銘打って社内に掲示している。 お客様窓口付近、乗務員休憩室、事務所内に掲示しています。 2. 見直し(安全方針・周知方法)の検討状況及び具体的事例 安全方針に関しては必要に応じた時に見直します。 | |
| | 2. | 年に1回、安全目標とそのための具体的取組計画(安全重点施策)を作成しているか。 | ○ | 1. 安全目標 ・物損事故 10%削減。 ・修繕費 20%削減。 ・安全対策費 10%増額。 2. 具体的な取組計画 ・安全輸送に関する意識の向上 ・適性診断の結果を活かした指導・教育の実施 ・事故情報の迅速な伝達 | |
| | 3. | 取組計画の進捗状況及び安全目標の達成状況を把握し、必要に応じて見直しているか。 | ○ | 1. 進捗・達成状況の具体的内容 ・人身事故0達成。 ・物損事故0件。 ・車両事故0達成。 2. 見直しの検討状況及び具体的事例 物損事故に関してはドライブレコーダーの映像を確認し、同じような事故を起こさないよう運転者に対して指導・教育した。 | |

自己チェックシート（3 / 6）

| | | 自己チェックポイント | 自己判定 | 具体的な取組内容等 | 担当官判定 |
|-------------------------|----|--|------|---|-------|
| 3 情報伝達及びコミュニケーションの確保 | 1. | 代表者（経営者）等は、輸送の安全に関する情報が適時、適切に社内に伝わるようにしているか。また、現場の課題等を適時、適切に把握しているか。 | ○ | 1. 代表者（経営者）等から現場への情報伝達の状況 天候・道路状況などの伝達は電話・無線等連絡で行っております。 2. 現場の課題等の把握の状況 ・乗務員と直接電話で話して把握しております。 3. 情報伝達の頻度や現場の課題等の適時、適切な把握の状況 ・現場にいる乗務員と直接話するか、担当者などと連絡をとり状況把握に取り組んでいます。 | |
| | 2. | 情報伝達及びコミュニケーションにおいて明らかになった課題等について、必要な措置を実施し、見直しを行っているか。 | ○ | 1. 明らかになった課題等についての措置の具体的事例 ・乗務員の接客態度など、お客様からのクレームなどは迅速に対応し対応するように徹底しています。 2. 見直しを行った具体的事例 ・「乗務員の態度が顔にでていて不愉快だ」など「方言で怒っているように聞こえる」などは乗務員に指導教育したほか、外部で受けた接遇講習の知識を生かし教育しています。 | |

自己チェックシート（4／6）

| | | 自己チェックポイント | 自己判定 | 具体的な取組内容等 | 担当官判定 |
|------------------|----|---|------|---|-------|
| 4 事故情報等の収集・活用 | 1. | 社員は、事故が発生した場合は、代表者（経営者）等にその情報を適時、適切に報告しているか。 | ○ | 1. 報告の状況（例：連絡体制図に基づき速やかに報告） ・事故発生時対応マニュアルに基づき迅速に報告している。 | |
| | 2. | 代表者（経営者）等は報告を受けた事故について、原因の究明を行い、再発防止策を検討・実施しているか。また、実施した対策の効果を把握し、必要に応じて見直しを行っているか。 | ○ | 1. 原因究明・再発防止策の検討の実施状況 ドライブレコーダーと乗務員の情報をもとに行っている。 2. 効果把握・見直しの実施状況 ・把握している ・必要な時は見直しします。 | |
| | 3. | 自社のヒヤリ・ハット情報を集め、事故防止に活用しているか。 | ○ | 1. 収集方法 ・乗務員との会話 2. 活用状況 ・ヒヤリ・ハットの情報を全社員に周知し、事故防止に努めている。 | |
| | 4. | ヒヤリ・ハット情報を報告することの重要性を社内に周知するとともに、報告者に対し不利益が生じないように配慮しているか。 | ○ | 1. 周知の実施状況 ・定期的にヒヤリ・ハット情報交換を行っている。 2. 不利益が生じないように配慮している状況 ・個別に面談 | |
| | 5. | 他社の事故事例やヒヤリ・ハット情報等の情報を集め、自らの事故防止に活用しているか。 | ○ | 1. 情報の活用状況 ・活用している。 | |

自己チェックシート (5 / 6)

| | | 自己チェックポイント | 自己判定 | 具体的な取組内容等 | 担当官判定 |
|----------------|----|--|------|---|-------|
| 5 教育・訓練等の取組 | 1. | 代表者(経営者)を含め輸送の安全にかかわる者に対して、運輸安全マネジメント制度に関する教育(外部研修等の受講を含む)を行っているか。 また、必要に応じて見直しを行っているか。 | ○ | 1. 教育の実施状況 ・乗務員教育記録簿に保管しています。 2. 見直しの実施状況 ・社内環境が改善された。 | |
| | 2. | 運転者等の技能要員に対して、必要な教育・訓練を計画的に行っているか。 また、必要に応じて見直しを行っているか。 | ○ | 1. 教育・訓練の計画内容及び実施状況 ・乗務員の年間計画表をもとに、教育・訓練を行っている。 2. 見直しの実施状況 ・行っています。 | |
| | 3. | 重大な事故等が発生した場合の対応方法等を予め定めているか。 | ○ | 1. 重大な事故等が発生した場合の対応方法の内容 ・事故発生時対応マニュアル | |
| | 4. | 重大な事故等を想定した情報伝達訓練等(親会社の訓練に参加等含む。)を実施しているか。 また、訓練の実施後は振り返りを行い、必要に応じて内容を見直しているか。 | ○ | 1. 訓練の実施状況 ・対応が迅速にできるか、手順通り対応できるかなど実施 2. 見直しの実施状況 ・毎年行う | |
| | 5. | 社員(運転者等)の関係法令等の遵守状況について定期的に確認を行っているか。 | ○ | 1. 遵守状況の定期的な確認の実施状況 ・運転する場合の心構えとして関係法令など改善基準告示などの教育・指導を年に一度行っている。 | |

自己チェックシート (6 / 6)

| | 自己チェックポイント | 自己判定 | 具体的な取組内容等 | 担当官判定 |
|-----------------|--|------|---|-------|
| 6 点検及び見直し・改善 | 1. 中小規模自動車運送事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン付属「安全管理の取組状況の自己チェックリスト」による点検等により、少なくとも年に1回、安全目標の達成状況や安全管理の取組状況を点検しているか。 | ○ | 1. 点検の実施状況 ・点検しています。 ・当社の安全な輸送の取組で確認。 | |
| | 2. 上記 1.の点検の結果、必要に応じて安全目標や取組計画を見直しているか。 | ○ | 1. 見直しの実施状況 ・安全管理の重要性など、健康管理の重要性などを踏まえて見直ししています。 | |
| | 3. 安全に関する日々の取組みに問題があった場合、改善や対策等を講じているか。 | ○ | 1. 改善・対策の事例 ・全社員を含めミーティングを行い必要な対策を講じた。 | |
| | 4. 安全管理体制を構築・改善するために作成した文書類や運用結果を残すために作成した記録類を適切に管理しているか。 | ○ | 1. 文書類（各種安全に関する規程、マニュアル等）の作成・管理の状況 運行管理規程、安全管理規程、乗務員サービス規程、整備管理規程、 事故防止マニュアル、作成・管理しています。 2. 記録類（安全に関する会議の資料・議事録等）の作成・管理の状況 無し | |

【運輸局等記載欄】

| 事 項 | 記 載 欄 |
|-----------------------|--------------|
| 評価日 | 令和7年3月3日(月) |
| 評価場所 | 本社営業所 |
| 評価担当運輸局支局等の名称 | 内部監査のため無し |
| 評価チームリーダー職名、氏名 | 安全統括管理者 雨宮亮二 |
| 評価チームメンバー職名、氏名 | 内部監査員 村田栄史 |
| 運輸安全マネジメント評価データベース入力日 | 令和7年3月6日(木) |